新品種・新技術の確立 支援事業 取組概要 (H30~H31)

# 『施設トマト、ほうれんそう栽培における温暖化対策に向けた新技術の

確立•普及』

=富山県=

### 【全体概要】

富山県は、冬季は積雪・寡日照並びに夏季はフェーン現象等による異常高温などから、国内の他の地域と比較して、野菜生産においては栽培可能な 期間が短く、長期間・安定的に生産・出荷することが難しい。このため、県内市場等からの県産野菜に対するニーズは強いものの、長期間、安定的に出 荷できる県外産地の野菜が優先的に取扱われ、出荷期間が短い本県の野菜は優位に販売することができない。

このため、「トマト」及び「ほうれんそう」において栽培施設内の温度上昇抑制技術の実証に取り組み、新技術の確立、普及を図る。

## 新品種・新技術等の概要

#### ●トマト

- (1) 遮光ネットによる温度上昇抑制技術
- (2)細霧冷房による温度上昇抑制技術

#### ●ほうれんそう

- (1)耐暑性と高い品種の選定に向けた品種比較 🖫 試験
- (2) 遮光及び屋根散水による温度上昇抑制技術



細霧冷房の効果



図2 散水チューブ付遮光ネットの効果

### 実施体制図

農林振興センター



## 県関係課

- 生産振興・流通対策の推進
- 協力関係、情報共有 協力関係、情報共有

## 種苗会社・機械メーカー

- ・品種に係る情報提供
- ・機械化体系に係る実証、助言

#### 実需者

・加工業務用野菜の需要動向等の 情報提供

協力関係、情報共有

試験研究機関

(農業革新支援専門員)

•技術対策提示、助言指導

現地実証に係る助言

販売戦略等に係る助言、情報提供

## 主な取組内容

### 【実証ほの設置】

・トマト、ほうれんそうの栽培施設内の温度上昇抑制対策実証ほの設置

### 【検討会の開催】

- ・実証ほ設置・成績検討会、実証ほ現地検討会
- 実需者との意見交換会の開催

#### 【生産性向上・経営改善効果分析】

「高温対策新技術マニュアルの作成、配布

#### 【先進地視察の実施】

・安定生産技術にかかる県外先進地調査

# 課題と今後の対応

#### ●トマト

・生育指標の作成に必要な生育データを収集するとともに、細霧冷房の温度 上昇抑制効果があることが確認できた。

生産・流通に

係る連携

協力農家·JA等

・収量品質のデータ管理

実証は栽培管理

- ・今後は、噴霧方法(噴霧間隔・時間など)を検討するとともに、一層の温度 上昇抑制効果向上のため、循環扇や換気窓の活用効果について検討する。
- ●ほうれんそう
- 高温期の有望な品種が明らかとなった。また、散水チューブ付き遮光ネット を利用することにより、通常の遮光ネットに比べ、ハウス内温度が2~3℃ 低くなることが確認された。
- ・今後は、ハウスの開口部分を増やし、換気率の増加により、温度上昇抑制 効果の向上も検討する。